

# ちよつとしい話

## ～ うらぼん 盂蘭盆（お盆）～

盂蘭とは「最も厳しい苦しみ」という意味です。盆は供物を盛る器のことです。経によれば、親孝行な目蓮尊者がお釈迦様の教えに随い、旧暦七月十五日の自恣じしの日に百味五菓の飯食を盆に盛って大徳に供養し、其の功德に依って餓鬼道に居る母親（青提女）を救済したと言う因縁より始まったのです。ともかくお盆は祖霊を死後にある苦悩の世界より救済する為に特別に精霊棚を作り、故人の好物を御供養させて頂くという大切な行事でありますから、心を配り、お盆を努めて下さい。

日本で初めて公式に行われたと言う記録は、天平五年（733）七月聖武天皇の時です。「天平五年秋七月庚かのえうま午初メテ令三大膳職備二盂蘭盆ノ供養ヲ」とあります。唯し、推古十四年（606）に行われた説もあります。

百味とは大智度論（般若経の注釈書）に「菩薩あり、百味を以て諸佛及び僧に供養すとは有人言はく餅種の数五百にして其の味百なり是を百味と名付く。有人言はく飯食種々備足するが故に称して百味となす。」とあります。

- \*五菓…
- 一、核菓 なつめ、あんず、もも、すもも
  - 二、膚菓 うり、なし
  - 三、穀菓 やしのみ、くるみ、ざくろ
  - 四、か菓 まつのみ、しそのみ、ごま
  - 五、角菓 だいず、あずき

\*自恣…インド佛教教団では雨季の三ヶ月間、修行者が外出せず一箇所に定住して修行をすることです。日本の佛教教団では夏安居と言っております。

善入院油掛地藏尊